

エコアクション21

環境経営レポート

(期間:2019年4月～2020年3月)



本社ビル(中央区銀座)

作成年月日:2020年 6月5日



平凡商事 株式会社

平凡商事 株式会社 環境経営方針

基本理念

平凡商事株式会社は、企業の社会的責任のもと国内外の環境関連法令を遵守、健全な経営の発展を図りながら廃棄物の減量化、リサイクルの推進等環境への負荷の少ない継続的改善を行う。また、代理店として取引先の要望やニーズに応えられるよう、環境にも考慮した営業活動を行い、取引先に選ばれる代理店を目指す。

我社はグループ会社に、読む(出版)、聴く(音響)、視る(映像)と、事業の多角化を図るため、各企業を設立し、高度情報化社会への対応を共に邁進している。

行動方針

1. 事業活動にあたっては、環境に関する法規制・条例・協定・その他の合意事項を遵守し、環境保全に努める。
2. 環境に配慮した製品の企画・開発・販売を積極的に行う。
3. 営業車の効率的な利用や、省資源・省エネルギーの推進を図り、二酸化炭素排出量の削減に取り組む。
4. 廃棄物の分別・処理の適切な管理、排出物のリサイクルを推進する。
5. 水の使用量の制御と節水に努め、総排水量を削減する。
6. 環境に配慮した製品の提供及びグリーン購入の推進を図る。
7. 業務効率化の為、IT化を積極的に取り組む。
8. 経営課題の解決と環境経営の両立を目指し、環境改善目標を定め、継続的な環境改善活動を実践する。
9. 環境に関する意識向上の為、社員教育を実施し周知させ、意識・知識の継続的な向上を図る。

制定 2006年 10月 1日
西暦 2020年 6月 5日 改定
平凡商事 株式会社
社長 鈴木 昭夫

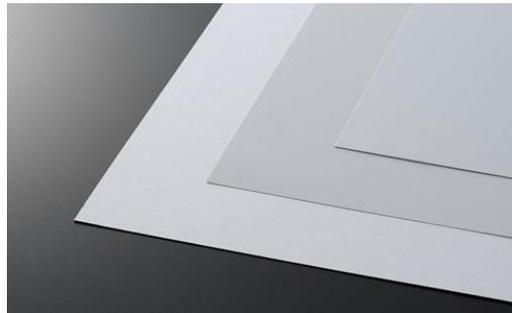
事業概要

1. 事業者経営の概要

- a. 事業者名及代表者名
事業所 平凡商事株式会社
代表者 代表取締役社長 鈴木 昭夫
- b. 所在地
本社事務所 〒104-0061
東京都中央区銀座1丁目23番8号
TEL 03-3567-3141
FAX 03-3567-7770
- c. 環境保全関係の責任者及管理者連絡先
環境管理責任者 取締役 窪田 保宏
管理者連絡先 部長 白石 知巳
TEL 03-3567-3141
FAX 03-3567-7770
- d. 事業の内容
洋紙・板紙卸売、店舗用度品・包装資材・安全衛生消耗品資材の販売
- e. 事業の規模
従業員数(含常勤役員) 19名
事務部門床面積 395㎡
2019年度年商 34億7,900万
- f. 認証・登録範囲
上記全組織すべての活動に摘要



店舗用度品・包装資材



板紙



安全衛生消耗品資材



巻き取り

1. 目標とその実績

2020.6.5

1. 環境経営目標

・環境目標値の、二酸化炭素、廃棄物排出量、総排水量、エコ、リサイクル、FSC商品の販売量、IT(電子化)は2016年度実績を基準に設定した。

項目	単位	2016年度 目標基準年	2019年度 目標	2020年度 目標	2021年度 目標	2022年度 目標
二酸化炭素排出量	kg-co2	35,004 →	33,604以下 (4%減)	33,254以下 (5%減)	32,904以下 (6%減)	32,554以下 (7%減)
廃棄物排出量	t	1.42 →	1.36以下 (4%減)	1.35以下 (5%減)	1.33以下 (6%減)	1.32以下 (7%減)
総排水量	m ³	146 →	142以下 (3%減)	140以下 (4%減)	139以下 (5%減)	137以下 (6%減)
製品に関する項目 エコ、リサイクル、FSC商品の販売量	t	4,018 →	4,500以上 (12%増)	4,500以上 (12%増)	4,500以上 (12%増)	4,500以上 (12%増)
IT(電子化)推進	件	1 →	1つ以上 (16年度維持)	1つ以上 (16年度維持)	1つ以上 (16年度維持)	1つ以上 (16年度維持)

※購入電力排出係数 0.393(kg-CO₂)：2018年度ミツウロコグリーンエネルギー調整後排出係数

2. 環境経営目標、実績(2019年4月～2020年3月)

○=目標達成、×=目標未達成

項目	単位	2019年度 実績	2019年度 目標	今回 評価
二酸化炭素排出量	kg-co2	30,352	33,604以下	○
廃棄物排出量	t	1.14	1.36以下	○
総排水量	m ³	131	142以下	○
製品に関する項目 エコ、リサイクル、FSC商品の販売量	t	3,929	4,500以上	×
IT(電子化)推進	件	1	1つ以上	○

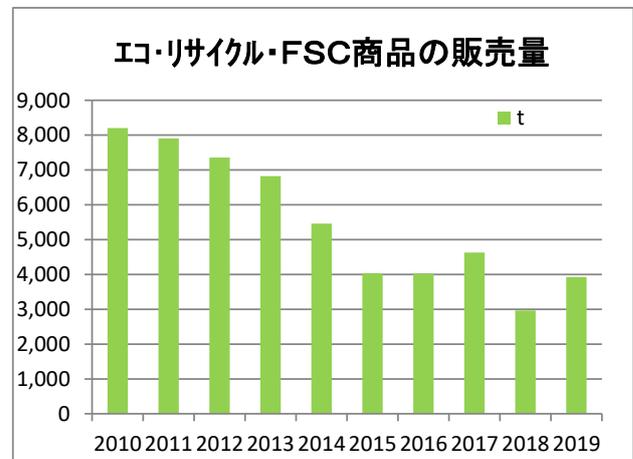
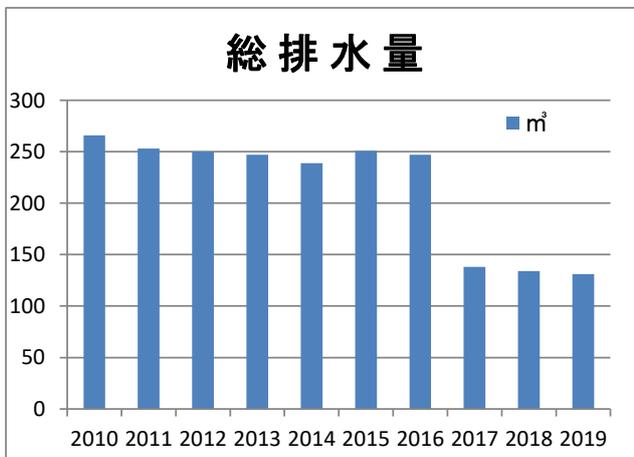
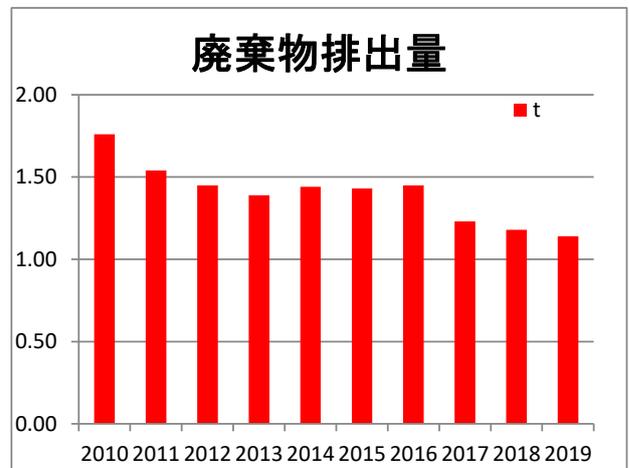
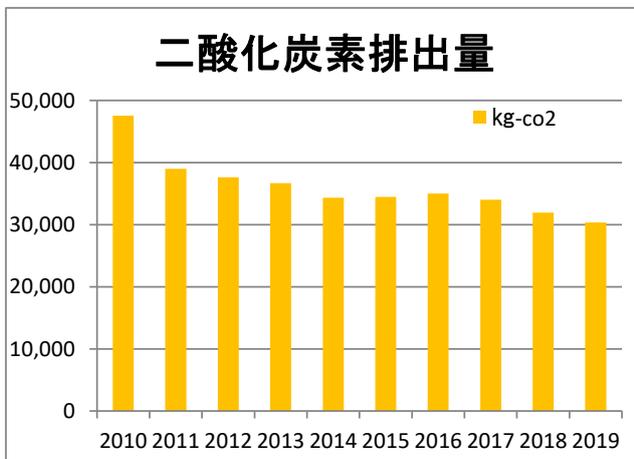
<評価と是正処置>

※ 二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量及びIT推進は目標達成出来たが、エコ・リサイクル・FSC商品の販売量については、わずかながら目標値に届かなかった。FSC商品が今期から本格的に加わってきた為、目標値に大分近づけるようにはなってきたので、今後もお客様への積極的なアピール努力と更なる営業活動をして行く。

2. 環境経営計画

(経営期間 : 平成31年4月～令和2年3月)

項目	対象	活動内容
二酸化炭素排出量	電気・ガソリン	①エアコン設定温度の管理 夏場27度 冬場23度
		②ガソリンの使用量を減らす。営業車を1台減らす検討
		③ EV内照明をLED化
		④不在フロアの照明消灯の徹底
		⑤アイドリングストップの徹底。自家用車使用最低限に抑える
廃棄物排出量	紙類等・ゴミ	①両面、裏紙コピー利用の徹底
		②コピー機等のミスプリント防止
		③新聞、雑誌、古紙類、ダンボールのリサイクル化の徹底
		④ゴミ分別の徹底
総排水量	上水使用量	①節水ラベル表示や節水コマの設置
		②出しっぱなし禁止、食器洗いはまとめて実施
エコ・リサイクル・FSC商品販売	紙類	①お客様のご協力と営業活動での積極的なアピール努力
業務効率化	電子化(IT)	①回覧、各資料、FAX等をPDF化し紙出力を必要最低限に
汚染予防法違反		①販売品、新規商品の法規制遵守



3. 環境経営計画の取組結果及び評価、今後の取組方針等

(経営期間 : 平成31年4月～令和2年3月)

※”○”=できた、“△”=一部できなかった、“×”=できなかった

経営計画の取組内容		責任者	活動期間	結果	評価、今後の取組内容
二酸化炭素排出量					
電気・ガソリン	①エアコン設定温度の管理 夏場27度 冬場23度	白石	通年	○	リモコン設置場所に『夏27度、冬23度』と貼付け、設定温度の制限徹底を図り、継続して取り組む。
	②ガソリンの使用量を減らす。営業車を1台減らす検討	白石	通年	○	ガソリン使用量は半分近く削減。営業車1台は来期解約に変更。
	③エレベータ内の照明をLED化	白石	1月	○	エレベータ内の照明をLED化した。
	④不在フロアの照明消灯の徹底	白石	通年	○	誰もいないフロアの照明やエアコンは、常に消していた。
	⑤アイドリングストップの徹底。自家用車使用最低限に抑える	窪田	通年	○	極力、電車での移動に変えた結果、ガソリン使用量が削減された。
廃棄物排出量					
紙類・ゴミ	①両面、裏紙コピー利用の徹底	白石	通年	○	コピー機に両面印刷、裏紙使用の徹底を警告する。プリンターのトレーにも裏紙を設置。継続して個別指導に努める。
	②コピー、プリンタのミスプリント防止	白石	通年	○	ミスプリント防止のオンデマンド印刷機能を取り入れたことによりミスプリントが減った。これを今後も継続していく。
	③新聞、雑誌、古紙類、ダンボールのリサイクル化の徹底	白石	通年	○	新聞、雑誌、ダンボール、古紙等はビル内に専用場所を設置し、適宜回収業者に引き渡しリサイクル化している。更に継続し取り組む。
	④ゴミ分別の徹底	白石	通年	○	ゴミの種類ごとに適格にゴミ箱に分別するよう掲示し、徹底に努めた。継続して取り組む。
総排水量					
上水使用量	①節水ラベル表示や節水コマの設置	白石	通年	○	蛇口周辺に節水表示を貼り出し、コマを取り付けムダ使い防止に取り組むよう徹底を図った。継続し取り組む。
	②出しっぱなし禁止、食器洗いはまとめて実施	白石	通年	○	洗物は出来るだけある程度まとまってから洗うなどし、極力節水を心がけるよう努めた。引続き継続し、取り組む。
エコリサイクル・FSC商品販売促進					
紙類	お客様のご協力と営業活動での接客的なアピールの努力	窪田	通年	△	エコリサイクル商品については、なかなかお客様の需要が少なく伸び悩んだが、FSC申請商品の販売は増えてきたので今後も営業活動に力を入れ、目標に向かって行動する。
業務効率化					
電子化	電子化(IT)推進、検討	白石	通年	○	紙で管理していた資料を、データ管理に切り替えた。
汚染予防法違反					
	販売品、新規商品の法規制遵守	窪田	通年	○	法規制遵守、違反無し。継続して取り組む。



4. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

■ 法規制への違反・訴訟等の有無に関して

環境関連法規への違反はありません。

なお、関係当局よりの違反及び訴訟も、指摘は過去3年間ありません。また苦情もありません。

適用法規制一覧表

平成31年4月～令和2年3月(遵守日:令和2年3月27日)

法規制名称	条 項	該当項目	法令等の内容	確 認 事 項	遵守状況	訴訟有無
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条2項	一般廃棄物	廃棄物の排出抑制	各従業員の分別処理の徹底	○	無
資源の有効な利用の促進に関する法律(リサイクル法)	第5条	使用済みパソコン	消費者の製品の長期	適正な業者への処分依頼	○	無
環境基本法	第8条		一般的な自主努力	一般的な自主努力	○	無
地球温暖化対策推進法	第5条		温室効果ガス制御装置	自治体施策へ協力	○	無
下水道法	第8条		公共下水道への排水水質管理(有害物を流さない)		○	無
フロン排出抑制法	第16条	業務用エアコン	3ヶ月に1回、簡易点検	簡易点検	○	無

5. 代表者による全体の評価と見直し

評価期間：平成31年4月～令和2年3月
見直し実施日：令和2年6月5日

評価者：代表取締役 鈴木 昭夫

社長の評価結果	エレベータ内の照明もLEDに変え、これでビル内の照明は、ほぼLEDになった。環境経営目標もエコ等販売量を除いては達成出来た。今期から本格的にFSC商品も加わり、エコ、リサイクル、FSC商品の販売量も目標値に近づいてきているので、更なる営業活動に力を入れ、社員の環境意識の向上を図り、法令関係にも遵守し継続的に取り組んで行く。
変更の必要性の判断	<p>1. 環境方針 <input checked="" type="radio"/> 必要 ・ <input type="radio"/> 不要</p> <p>2. 環境目標 <input type="radio"/> 必要 ・ <input checked="" type="radio"/> 不要</p> <p>3. 環境経営計画 <input type="radio"/> 必要 ・ <input checked="" type="radio"/> 不要</p> <p>4. 実施体制 <input type="radio"/> 必要 ・ <input checked="" type="radio"/> 不要</p>

新環境経営目標（次年度）

・2020年4月より、購入電力会社の変更により、下記のように中期環境経営目標を変更しました。

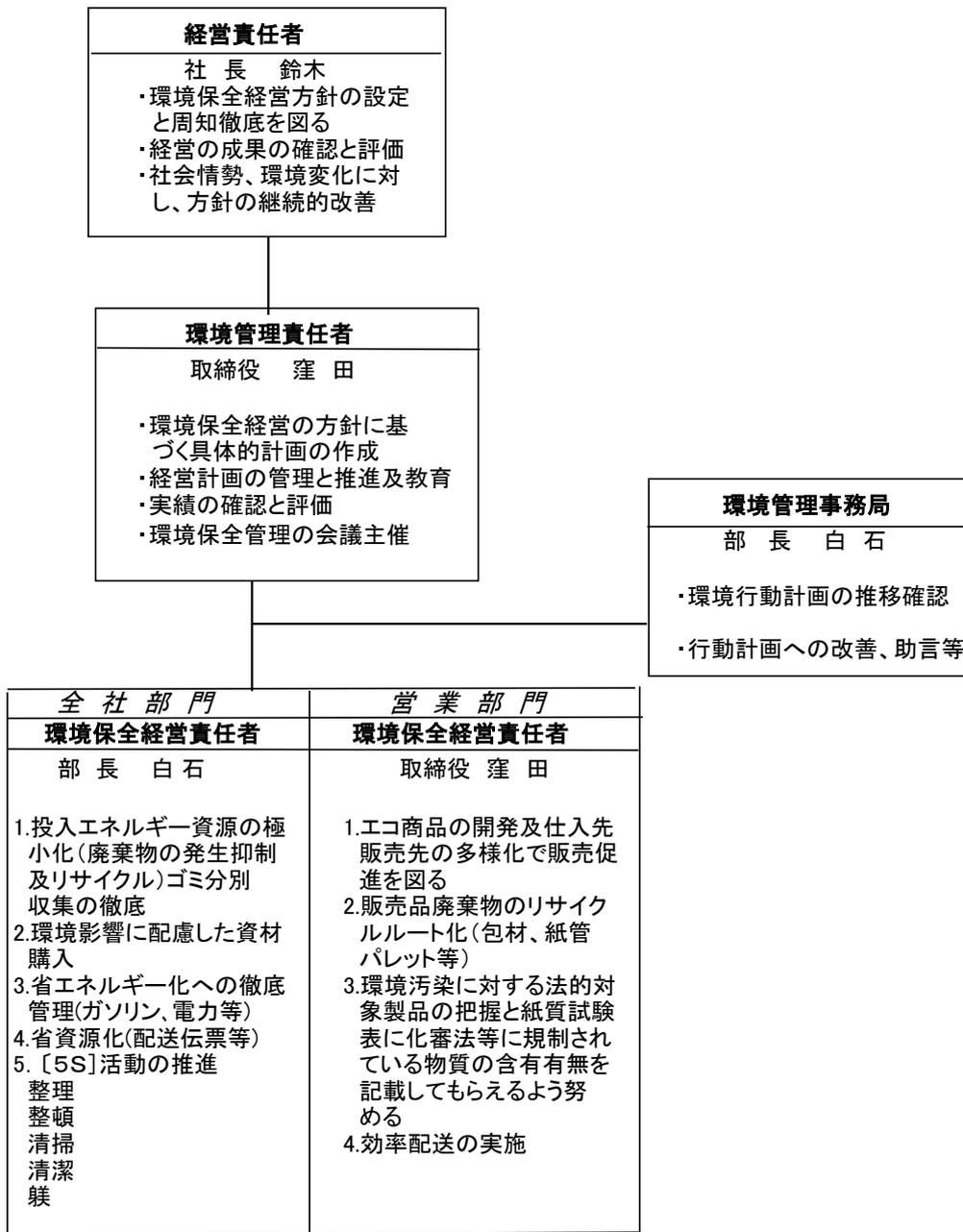
項目	単位	2016年度 目標基準年	2020年度 目標	2021年度 目標	2022年度 目標
二酸化炭素排出量	kg-co2	39,609 →	33,667以下 (15%減)	33,271以下 (16%減)	32,875以下 (17%減)
廃棄物排出量	t	1.42 →	1.35以下 (5%減)	1.33以下 (6%減)	1.32以下 (7%減)
総排水量	m ³	146 →	140以下 (4%減)	139以下 (5%減)	137以下 (6%減)
製品に関する項目 エコ、リサイクル、FSC商品の販売量	t	4,018 →	4,500以上 (12%増)	4,500以上 (12%増)	4,500以上 (12%増)
IT(電子化)推進	件	1 →	1つ以上 (16年度維持)	1つ以上 (16年度維持)	1つ以上 (16年度維持)

※購入電力排出係数 0.455(kg-CO2)：2018年度東京電力エナジーパートナー調整後排出係数

実施体制

2020.6.5

平凡商事株式会社 環境管理組織図及機能図



緊急事態への対応

2020.6.5

火災防止対策

◎火気管理

- a. 喫煙は指定された場所以外では行わない。
- b. 終業時には、必ず灰皿の整理及び火気設備器具等の安全確認を行う。
- c. 火気設備器具は指定された場所で使用すると共に、器具等を本来の目的以外に使用しない。
- d. 燃焼器具等を使用する場合は、可燃物に接近して使用しない。

◎放火防止対策

- a. 空室、雑品倉庫、等の施錠を行い定期的に確認をする。
- b. 火元責任者又は最終帰宅者による火気と施錠の確認を行う。

地震対策

- a. 窓ガラス等に飛散防止措置を行う。
- b. 火気設備器具等からの出火防止措置を行う。
- c. 照明器具、物品などの転倒・落下防止措置を行う。

災害時組織の編成連絡網

本社(管理人)――→

白石知巳 (部長)	→	窪田保宏 (取締役)	→	鈴木昭夫 (社長)
--------------	---	---------------	---	--------------